

建築用塗膜防水材料

セブンウォール

溶剤なみがたタイル面仕上げ
弱溶剤 2液 アクリルシリコン樹脂仕上げ

施工要領書

2020年6月改訂版



Seven Chemical
株式会社 セブンケミカル

下地処理

1. 下地適用範囲

タイル張り仕上げ外壁面

2. 下地調整 公共建築改修工事 標準仕様書（建築工事編）平成 31 年版に準拠

- ① 下地表面に、塵埃、セメントノロ粉、エフロッセンス、型枠剥離剤の残存物などが付着している場合は、ワイヤーブラシ、サンダー、シンナーなどで除去清掃してください。
- ② 下地の不陸、目違い、突起（でっぱり、すじ、波打ち）、豆板、気泡穴などがある場合は、はつり、サンディング後、不陸調整が 3 mm 以上 10 mm までは下地調整材 CM-2、1 mm～2 mm の場合 C-2、1 mm 以下の場合には C-1 モルタルで許容できる範囲に調整してください。
- ③ 下地のひび割れ幅が 0.2 mm～2.0 mm 未満の場合、ひび割れ筋をまたぎ左右 25mm 程度の幅で端部から延長 50mm 以上をスーパーセブン 0.5kg/m² 以上で段差の無いように塗り付けてください。
- ④ ③を越えるひび割れ部は、樹脂注入、U カットシール、シール工法により補修してください。欠損部周辺の脆弱部分は除去しワイヤーブラシなどでケレン清掃し発錆が有れば防錆処理を行ってください。また、部分的に露出している鉄筋、アンカー金物などがある場合、監督職員と協議し、健全部が露出するまでコンクリートをはつり、ワイヤーブラシ等でケレンを行い錆を除去し防錆剤を塗付け処理してください。
- ⑤ テストハンマー等により、剥落のおそれの有る浮きについて確認し、アンカーピン、充填工法で行ってください。
- ⑥ 増塗りを行う部位は、プレキャストコンクリート、ALC 版、などの継手目地、建具回り、貫通部回りなどの防水上重要な部位、出隅、入隅、目地部などの膜厚の薄くなり易い部位、開口部回りなどのひび割れが発生し易い部位、下地の動きが激しい部位としてください。
- ⑦ リシン吹付面下地では、骨材の粗面が目立たない程度にケレンするか、下塗後、セブンウォール主材を捨て塗り平滑にしてください。
- ⑧ モルタル仕上げの場合は、木ゴテまたは、金ゴテ仕上げでおこないます。
- ⑨ シーリング材は、JIS A 5758（建築用シーリング材）NB タイプが良好です。シーリング面に仕上げ塗材を塗る場合、シーリングが硬化した後、塗り重ね適合性に合った必要な処理を行ってください。
- ⑩ 改修部に石綿、鉛等の有害物質を含む材料が使用されていることを発見した場合は、監督職員と協議してください。
- ⑪ 下地は十分に高圧洗浄（15MPa/mm² 以上）し、表面に塵埃、付着異物、カビ、藻等が残らぬよう十分に除去し下地を乾燥させてください。

セブンウォールの施工

□セブンウォールの工程 外壁タイル張り面への溶剤なみがた仕上げ

工程	使用材料	希釈 (重量比%)	所要量 (kg/m ²)	塗り回 数	工程間隔 (時間)	使用器具
1 下塗り	セブンSシーラー	無希釈	0.15 ~0.2	1	2 以上	ローラー(中毛)、 エアレススプレー、 刷毛など
2 下地挙動緩 衝材塗り (注1)	スーパーセブン	無希釈	0.5	1	3 以上	多孔質ローラー、 刷毛
3 増塗り (注2)	セブンウォール	水道水 (0~5)	0.5 ~1.0	1	3 以上	多孔質ローラー、 刷毛、ゴムヘラ
4 主材	セブンウォール	水道水 (1~3)	1.0	1	5 以上	多孔質ローラー (粗目)
5 基層塗り			1.0	1	16 以上	
6 上塗り	セブンウォールトップ MSマイルド	シンナー (0~20)	0.15	1	当日 2 回塗り	ローラー(中毛)、 エアレススプレー、 刷毛など
7			0.15	1		

注 1:スーパーセブンは、ひび割れ幅0.2mm~2mm未満とし、ひび割れをまたぎ50mm程度の幅で延長50mm以上を端部に段差の無いように塗り付けてください。

注 2:増塗りを行う部位は、プレキャストコンクリート、ALC版、などの継手目地、建具回り、貫通部回りなどの防水上重要な部位、出隅、入隅、目地部などの膜厚の薄くなり易い部位、開口部回りなどのひび割れが発生し易い部位、下地の動きが激しい部位とします。

セブンウォールトップ MSマイルドの希釈は:セブンウォールトップMSマイルドシンナーです。

□ 施工環境

- ① 低温(5℃以下)の場合、樹脂の乾燥硬化に支障をきたす場合があるため施工を避けてください。
高温(気温 35℃以上、躯体温度 30℃以上)、及び湿度 80%RH以上の場合、塗膜乾燥、ローラー作業性及び仕上げ性に支障をきたす場合がありますので十分注意してください。
- ② 降雨降雪、霧発生の恐れがあるときは、施工を避けてください。
- ③ 風速 5m/sec 以上のときは、塗材の飛散被害・塗付けムラ等の支障をきたすので、十分風養生対策を行うか施工を避けてください。
- ④ 養生材には、ポリフィルム、クラフト紙、新聞紙などを、粘着テープで貼り付け、塗装面以外の箇所を汚染しないようにしてください。
- ⑤ セブンウォール及び、スーパーセブンは水性ですので保管場所に気を付け凍結などに十分注意してください。

セブンウォールの標準施工方法

1. 養生

2. 施工前の注意

施工に入る前に試験吹きを行い、パターン、色を十分に確認してください。

3. 下塗り

下地の吸い込みムラを防止し、下地と主材との接着をより強固にするために、セブンSシーラーは基剤/硬化剤(重量比) 13:1 又は、セブンSネオシーラーでは基剤/硬化剤(重量比) 11:1.5 を施工面積に合わせ必要量計量しハンドミキサーなどで十分攪拌しウールローラー、エアレススプレー、刷毛などで下地面に無希釈で均一にムラなく十分塗付してください。

(下地の状態により塗付け量に差異が生じます。)

4. 下地挙動緩衝材塗り

幅 0.2 mm以上 2.0 mm未満のひび割れ部及びひび割れ部の延長 50 mm以上に刷毛又は 4 インチ多孔質ローラーで塗付けてください。

5. 増塗り処理 (刷毛又はローラー塗り。)

プレキャストコンクリート、ALC 版パネル等の継手目地、建具周り、貫通部周りなどの防水上重要な部位、出隅、入隅、目地部等の膜厚が薄くなりやすい部位、開口部周り等のひび割れが発生し易い部位、下地の動きが激しい部位へ刷毛又はウールローラーで 0.5~1.0kg/m²塗付けてください。

6. 主材塗り (多孔質ローラーは赤色の粗目がお勧めです。)

●なみがた基層塗り

- ① 材料は、上下層を攪拌機で、気泡の入らないよう均一に混合して使用してください。
- ② 気温、湿度等の状況により必要に応じて1~3%の水道水で調整してください。
- ③ セブンウォール主材を多孔質ローラー(粗目)で 1.0kg/m²均一にムラなく塗付してください。
- ④ 基層塗りの塗膜は防水層として機能を果たせるもので、十分に注意して均一にムラなく仕上げてください。
- ⑤ 5 時間以上乾燥させ2回目塗りに進みます。
- ⑥ 1 回目塗りをした防水層塗膜の上に、パターンの造膜形成を計るため、セブンウォール 1.0kg/m²を1回目同様に多孔質ローラー(粗目)でムラなく重ね塗りしてください。
- ⑦ 16 時間以上乾燥させ、次に上塗り工程に進みます。

7. 上塗り

セブンウォールトップは、防水層の汚れを防ぎ、美観を保持するため使用します。

- ① セブンウォールトップ MS マイルドは基剤/硬化剤(重量比) 6:1 を施工面積に合わせ必要量計量しハンドミキサーなどで十分攪拌してください。
- ② 後、垂れ、ムラなどに注意して、ウールローラー、エアレススプレー、刷毛などで均一に規定量を1回塗りの乾燥硬化を確認の上、当日2回塗りして仕上げてください。
- ③ セブンウォールトップ MS マイルドの希釈量は、セブンウォールトップ MS ライト/マイルドシンナーで、ローラー仕上げの場合 0~10%(重量比)、エアレススプレーの場合 0~20%(重量比)です。よく混合攪拌した後、所要量(2回塗り合計)0.3kg/m²以上を使用して仕上げてください。

注 意 事 項

1. 施工上の注意事項

- ① 使用材料の配合、希釈量、可使時間をあらかじめ確認してください。
- ② 施工中に降雨及び降雪にさらされないようにしてください。
- ③ 降雨、多湿などにより結露のおそれの有る場合、又は強風時には、原則として行わないでください。
- ④ 5℃以下の場合、施工を行わない。但し、やむを得ず施工する場合は、板囲い、シート掛けなどで覆うほか、ヒーターなどで採暖してください。
- ⑤ 近接する他の部材や建物を汚損しないように、ビニル張り、板囲い、シート掛けなどの適切な養生を行ってください。
- ⑥ 居室等内装で使用する場合や、溶剤を取り扱う場合には通気換気を十分に行ってください。
- ⑦ 下塗り材、上塗り材に溶剤系塗料を使う場合、施工時には保護具などを着用し、溶剤による中毒を起こさないよう十分注意してください。
- ⑧ 各施工工程において、気温の低下や湿度の上昇により乾燥硬化が遅れることが有るので換気も重要です。
- ⑨ シーリング面に塗装を行う場合は、シーリング材が硬化した後に行うものとし、塗り重ね適合性を確認し、必要な処理を行ってください。
- ⑩ 養生テープを外す場合、端部をナイフカットし剥がしてください。
- ⑪ 所要量などの確認方法は、単位面積当たりの使用量によることを標準としてください。

2. 保管上の注意事項

- ① 風雨、直射日光を避け、常温保管を心掛けてください。
- ② 水性材料の保管は0℃以上の場所で保管してください。
- ③ 施工前にSDSを確認ください。

使用材料一覧表

製品名	容量	荷姿
セブンSシーラー (強溶剤・2液型下塗り材)	14kg セット 4kg セット	石油缶
セブン S ネオシーラー (弱溶剤 2 液型・白濁抑制タイプ下塗り材)	12.5kg セット 3.13kg セット	石油缶
セブンウォール (主材層防水材)	18kg	石油缶
スーパーセブン (下地挙動緩衝材/ひび割れ補修塗り材)	3kg	ポリ缶
セブンウォールトップ MS マイルド (弱溶剤 2 液型アクリルシリコン樹脂上塗り材)	14kg セット	石油缶
セブンウォールトップ MS ライトマイルドシンナー (希釈剤)	16ℓ	石油缶



東京都新宿区西新宿 7-8-13 栗原ビル 3 階

TEL 03(3366)2616 FAX 03(3366)2619

e-mail kimura@seven-chemical.co.jp

e-mail kitajima@seven-chemical.co.jp